

小中一貫教育だより

【令和8年度 第2号】

加東市教育委員会

小中一貫教育推進室

E-mail shochu-ikkan@city.kato.lg.jp

令和8年6月10日発行

ふるさと学習「かとう学」副読本(上巻・下巻・別冊「わたしたちの加東」) 発行

令和8年4月に、ふるさと学習「かとう学」副読本を発行しました。ふるさと学習「かとう学」副読本は、令和6年度から、関西学院大学吉水教授監修のもと、市民や関係機関の協力を得て、市内教員が取材や執筆を行いました。今回の改訂で、これまで活用してきた、上巻と下巻の内容を見直すとともに、別冊「わたしたちの加東」を新たに作成しました。

この副読本には、加東市のひと・もの・ことが多く掲載されており、義務教育9年間にわたって、教科横断的に幅広く学ぶことができるようになりました。

また、子どもたちにとって身近な「かとう」を学ぶことで、加東市の伝統や文化を尊重し、ふるさとへの愛着を深め、自信と誇りをもって、主体的に行動できる子どもの育成を目指しています。

特に、別冊「わたしたちの加東」の発行により、これまで遠くの地域の事例で学んでいた内容が、身近な加東市の事例で学習できるようになりました。子どもたちの興味や関心を広げ、学力向上にもつながるものと期待しています。

市内すべての児童生徒へ配布していますので、ご家庭でも一読いただければと思います。また、市内図書館でもご覧いただけます。



左側:「かとう学」副読本上巻(1～4年生)資料集型

中央:「かとう学」副読本下巻(5～9年生)資料集型

右側:別冊「わたしたちの加東」(3・4年生)社会科教科書仕様

《改訂の主なポイント》

1 別冊「わたしたちの加東」(3・4年生社会科)の作成

子どもたちが身近な加東市から学びを広げられるように、3・4年生の社会科に特化した「わたしたちの加東」(教科書仕様)を新たに作成しました。また、加東市を教材にした学びを通して、ふるさとの伝統や文化、人々の思いに触れ、地域への愛着を深めることも目的としています。

2 総合的な学習の時間カリキュラムに対応した内容構成

総合的な学習の時間のカリキュラムに合わせて、歴史や戦争・平和、環境問題を新たに追加しました。加東の歴史や戦時中の暮らしを学び、ふるさとを大切に思う気持ちを育成するとともに、持続可能な社会の担い手を育成することをねらいとしています。

3 時代に合わせたデジタル化

紙面に掲載できない動画やインタビューをQRコードから閲覧でき、自分で調べられるようにしました。子どもたちの興味や関心、より発展的な内容の受け皿として作成しました。

4 使用学年の明確化

子どもたちや教員が使いやすいように、ページごとに使用学年を想定し、文字の大きさや資料、情報量を子どもたちの発達段階に合わせました。

5 各地域の特色を幅広く学べるように内容を構成

小中一貫校の開校に合わせて、校区が広がることを受け、伝統的な内容を中心に各地区の祭りや建物を新たに掲載し、子どもたちが幅広く学べるようにしました。